

東山花だより

[YMCA東山荘は創立108年]



8月に開催された「こども富士登山キャンプ」にて、オンタデやアキノキリンソウに励まされながら標高2770m付近の岩稜帯を登る一行。

赤とんぼの来荘です。

あれ程、暑かった夏ですが8月の終わりには赤とんぼが舞い始めました。オニヤンマ、シオカラトンボは夏というイメージですが赤とんぼは秋のイメージです。赤とんぼの飛来と同じくして朝夕、少しずつ涼ぎやすくなってきました。残暑は10月まで続く予報が出ていますが、30度を切る気温にホッとします。年齢と共に気温に対する許容範囲が広がるようです(危ない笑)。

今夏は、学校や企業をはじめ、教会の修養会、スポーツ少年団、音楽教室、学校のクラブなど、多くの皆様にご利用いただき、夏期利用者数は2017年とほぼ同数となりました。国籍も様々で久しぶりに多くの言語が飛び交う荘内でした。

学校の先生は「生徒の意思統一の時として集合研修の意義を再確認しました」、企業のご担当者様は「オンラインも結構ですが、組織として同じ方向を向くにはやはり直接集まり、課題解決に向けて協力し研修する時を共有することが大切です」、教会は「聖日(日曜日)にも集まれなかった時を経て、皆で集え交われる喜びを感じています」と話されていました。皆さん、それぞれの時を有意義に過ごされ、豊かなこれからに向かって歩みを確認する時をYMCA東山荘で持たれた様でした。そのお手伝いをできたことを職員一同は嬉しく、そして感謝を持ってご報告いたします。

皆さま、またのご来荘をお待ちしております。
2023年、秋晴れの日に。

東山荘と私

「無法地帯」よもう一度

文筆家
オーストラリア在住

柳沢有紀夫



妻と結婚できて良かったと思うことは数知れない。その筆頭を挙げるとするともちろん「妻と結婚できたことそのもの」で、二番目は「子どもたちをこの世に生み出したこと」なのだ。が、三番目を争うくらいかなり上位に来るのが「東山荘の年末年始家族パーティーと出合えたこと」である。

結婚して最初の年、妻のほうの父である故・野間悦三から「我が家では毎年年末年始、御殿場にあるY M C A 東山荘というところで過ごしますが、有紀夫さんと真理ちゃん（妻の名）も来ませんか？」と誘われた。

こんなことを書くとき今の私を知る人は「人格改造手術でも受けたのか」と疑うだろうが、元来が人見知りするタイプであ



「ゴッドファザーの会」の一コマ。左端の司会者台には故・牟田悌三さん。現在は「ペアレンツアワー」として引き継がれている。

る。妻が第一子を妊娠中だったこともあり、その年の年末年始は数多用意されていたプログラムにはほとんど参加せず。昼間は「好きな映画のビデオを見られる会議室」に妻と入り浸り、夕食後は妻の一家と部屋に集ま

りおしゃべりをして過ごした。しばらくは毎年そんな「年末年始野間一族内でひきこもり生活」が続いたが、ある年に父から「有紀夫さん。ゴッドファザーの会に行きましょう」と誘われた。

ゴッ、ゴッドファザー!? 敬虔なクリスマスチャンの仮面をかぶってこの人はそんな裏の顔を持つていたのかと一瞬焦ったが、要は「会議室に集まっていた他の参加者たちとの飲み会」らしい。「ゴッドファザー」の名称の由来は本来の意味である「名付け親」。そしてもう一つ「禁酒法の時代のような東山荘でも密かに飲めるから」。「時代考証間違っていないか?」と思ったが、酒につられていそいそと同伴した。

趣旨は「子育ての悩みを腹を割って話そう」だと聞いていたが、実際に参加してみると妙な「儀式」が多かった。みんなが揃ったところに「♪盃を持て さあ卓を叩け」で始まる「乾杯の歌」の合唱でスタート。ちなみにこの時点では歌詞に合わせてテーブルをぶつ叩くくらいで、みんな比較的小おとなしく席に座っている。年末年始家族パーティー参加者おなじみの「風の歌」の合唱でも同様だ。



司会者としてオークション会場を大いに盛り上げる柳沢有紀夫さん。

酒がいくらいに回ったころに始まるのが、男性陣だけが舞台（といっても実際は会議室の「教壇」なのだが）に集い、振り付け込みで歌う「旅の夜風」（映画「愛染かつら」の主題歌）。「♪花も嵐もく踏み越えて〜」という歌詞の冒頭で、「紙吹雪」をまき散らすという余計な演出がある。始まる前には大の大人たちが割り箸の袋なんぞをいそいそとちぎり、いちばん下っ端の私があとでしぶしぶ片づける。

時計の針が12時を回るころ、フィナーレはみんなで肩に手を回し、会議室中で大きな円陣を組み、左右に揺れながらの「知床旅情」の大合唱だ。

つまり設立当初の「子育て云々」の高邁な趣旨は忘却の彼方に消え去り、すでに「飲兵衛が乱暴狼藉の限りを尽くす無法

地帯」になり果てていた。まあ、これはこれで「ゴッドファザーの会」の名にふさわしいのかもしれない。

その「重鎮」の一人に俳優の故・牟田悌三さんがいた。牟田さんはドン（ボス）兼司会役なのだが、まさにゴッドファザーよろしくウイスキーのオンザロックをカップカッパと浴びるように飲むものだから、当然途中で呂律も怪しくなり、段取りを忘れることもしょっちゅうだった。

そんな牟田さんを茶化し倒し始めた男がいる。私である。（ご本人はそのつもりはないにしても）ボケている人にはツッコミを入れてやるべし！ 関西人の妻と結婚して身につけた条件反射のようなものである。

そんな牟田さんがあるとき「柳沢くん。今の僕はキミのおかげだ」。ゴッドファザーの会のドンに珍しく真顔でつぶやかれても、私は芸能界のドンになった覚えなどない。なんだよ、シラフに見えていつもの酔っぱらいかよと最初は思った。だが。

「東山荘で僕はビッグになりすぎている。話しかけづらいと感じている人もいるだろう。キミが鋭いツッコミを入れて、引へ

今年もお正月は、YMCA東山荘で。

「第58回年末年始家族パーティー」参加者募集!

2023年12月30日(土)~2024年1月3日(水)・4泊5日

部分参加も可能です。
前泊・後泊も承ります。

年末年始は YMCA 東山荘に集まり、和やかな雰囲気のもと新年を迎えませんか。期間中は時間を忘れて楽しめるプログラムが朝から晩まで目白押しです。お食事はこの期間だけの特別なお料理をお楽しみいただけます。前回は 207 名 (5 日間で延べ 562 名) の方にご参加いただきました。

ご家族・ご親戚ではもちろん、お友達と一緒にやお一人でご参加の方も、思い思いにゆったりと楽しく過ごせるのが「年末年始家族パーティー」の特徴です。初参加の方大歓迎! 皆様のご参加を心よりお待ちしております。

*専用パンフレット(申込書)がございます。詳しくはそちらをご覧ください。パンフレットご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

前回の 思い出

前回の様子のごく一部をご紹介します。



▲富士山の絶景
を楽しみながら山
中湖岸ウォーク。

▶ウクライナの伝
統工芸品づくりに
挑戦。



▲心落ち着けて
新春俳句の会。

▶ピラティス

▶一番風はだ
れの風だ〜♪



▶お餅つき
大会。今年
は白と杵が
新しくなりま
した。



◀華やかなお食事もお楽しみの一つ。

今回の イチオシ

今回も通常のプログラムに加え
て様々な特別企画を準備中です。



「ニューイヤーコンサート」
ヴァイオリンデュオ 成原奏/角田潤
1月1日19:30~20:30



「大晦日落語会」
二代目林家木久蔵
12月31日13:30~14:30

*プログラムは現時点での予定です。やむを得ない理由でプログラム内容・時間等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

【編集者から】

柳沢有紀夫(やなぎさわゆきお)さんはオーストラリア・ブリスベン在住で、さまざまなジャンルで数多くの著作をお持ちのブロライターです。今回ご多忙の中「東山荘と私」をご寄稿いただきました(写真とキャプションは編集者によるものです)。「年末年始家族パーティー」を知る方には懐かしくもあり、どこかほろっとする(しかも初耳!)お話だったと思います。知らない方にとっては? がいっぱい不思議な「年末年始家族パーティーのすすめ」だったと思います。

以下、編集者の注です。

◎ゴッドファザー・・・「年末年始家族パーティー」はもともと東山荘を愛する方々の私的な集まりという性格を持っています。その後、発展的に成長して東山荘主催プログラムとなり、広く参加者を募集するようになりましたが、創設に関わった方々が「名付け親」として「ゴッドファザー」と呼ばれました。

◎牟田悌三・・・俳優。1928年〜2009年。クリスマスチャンホームに育ち、北海道大学在学中に学生YMCA寄宿舎に入舎。「自分の生き方の深いところで学生YMCAとの関わり」を持ち、その後も多方面で活躍する傍ら、長年にわたり東山荘を物心両面でお支えいただきました。

「きざり下ろしてくれて感謝している」

その言葉はちょっとうれしかった。

今は「ペアレンツアワー」という名(とうか当初も正式名称はそうだったかもしれない)で、この飲み会は引きつがれている。歌も踊りもないが、いい大人が飲みながらバカ騒ぎをする楽しい集まりだ(コロナ禍のこの3年はオーストラリアから一時帰国ができず参加してないので定かではないが)。

だがたまには歌って踊る「乱暴狼藉の会」、もとい「ゴッドファザーの会」のリバイバル版もしたいなと思ったりもする。あれもまた大切な「東山荘文化」の一つだと思うからだ。

さて、そんな牟田さんのお墨付きを得て水を得た魚となってしまう私。その後「フェアウェルパーティーのオークションの司会として、上半身裸、腰にバスタオル、紙おむつの冠をかぶった裸の王様姿で登場」などと暴走していくことは、古くからの参加者ならご存じだろう。でも牟田さんは「柳沢くん。それでいい。キミのバカは貴重だ」と天国で目を細めてくれている気がする。たぶん姫路の父も。

夏のプログラムご報告

ネイチャー プログラム

◎究極のこども富士登山キャンプ

8月10日(休)〜15日(火)5泊6日

この夏の「こども富士登山

キャンプ」は、5日間かけて、

東山荘から歩いて富士山に登頂し、おはちめぐり（山頂火口周回）も成し遂げ、そして東山荘まで歩いて帰ってきました。御殿場や須走の街を抜け、かつての登山道を歩くと、富士山の自然だけでなく、文化・歴史にも触れることができます。累積標高8300m、距離63kmに及び、また台風接近のため本来2

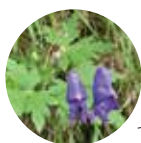


富士山頂にて。背後には山頂火口（大内院）と日本最高所・剣ヶ峰が見える。

日間かける行程を1日で敢行するなど、さまざまな意味で「究極の」富士登山となりました

が、小学2年生から大学生リーダー、スタッフまで総勢45名全員が最後まで歩き切りました。

なお、今回も文部科学省の助成を受けての開催でした。



ヤマトリカブト



フジアザミ

◎のんびり楽しく富士山登頂

8月28日(月)〜31日(休)3泊4日

今回は日程が8月最後の平日だったため例年より参加者が少なく、小学4年生から74歳の方まで、スタッフを含め14名が富士山登頂に挑戦しました。このプログラムは今回で27回目を迎えました。久しぶりに終始好天に恵まれ、色取り豊かで雄大な富士を満喫することができました。少人数だった分、参加者同士のコミュニケーションもはずみ、終わるころには本当の「大家族」のような絆が生まれ

ていました。ピラティスの先生のご厚意による山小屋での体ほぐし教室も大好評でした。

◎さるボードGSSオープンディ

8月5日(土)、6日(日)

東山荘オリジナル、そしてすべて手作りのウォータースライダー「さるボードGSS」は、8月も多くの方にご利用いただき、受託プログラムのほか、8月5日(土)・6日(日)にはオープンディを開催しました。田原績様からご寄贈いただいたのぼり旗も会場をさらに賑やかな雰囲気にしてくれました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



特製のぼり旗

クラフト

この夏は受託クラフトのみのご提供でしたが、全14団体、延べ426名様にご利用いただきました。ありがとうございます。秋以降も学校団体様のご予約をいただいています。東山荘の思い出にお勧めです。

同盟結成120周年――

日本YMCA同盟協議会を開催

ソヘイラ世界YMCA会長も参加

日本YMCA同盟の事業報告や計画について、全国YMCAの代表者が協議する「日本YMCA同盟協議会」が6月17日〜18日にかけてYMCA東山荘で行われ、35の都市YMCAと19の学生YMCAから約百人が集いました。

今年には日本YMCA同盟が結成されて120周年の記念すべき年であることから、世界YMCAのソヘイラ・ハイエック会長をご招待。昨夏から世界のYMCAで取り組み始めた「Vision 2030」について共に学び、語り合うセッションも行いました。

YMCA会長に就任されました。日本のユースたちにも、「これから世界はもっとボーダーレスになっていくでしょう。皆さんの可能性は無限大です。どうか自分の思い込みで壁を作らないで。自分に自信をもって、前に向かって進んでほしい」と力強く呼びかけました。

会場では、記念礼拝や主事認定証授与式など多数のプログラムが行われ、国内外の仲間たちと共に、Vision 2030 に向かって歩んでいくことを約束し、閉会となりました。

ソヘイラ会長はレバノン在住。教育支援NPOでのキャリアを活かし、昨年度から世界Y



ソヘイラ世界YMCA会長



YMCA Vision 2030は、すべてのYMCAが将来計画を作成するための共通のフレームワークです。

YMCA Vision 2030は、「運動を広げる4つの柱」で構成され、その下に3つの段階①YMCA内部の変革、②地域社会の変革、③グローバルな変革―の目標が示されています。

これは、世界のYMCAに連なる私たち全員で共有し、世界120の国・地域にあるYMCAが、共通の目標に向かって、それぞれの強みとコミュニティのニーズに従い、それぞれのペースで取り組むためのグローバルな連携の枠組みです。(詳細は→)





秋のプログラムご案内

ネイチャー

プログラム

森のレストラン&

クラフト

◎秋のこどもチョイチャレンジキャンプ

10月7日(土)～9日(月)2泊3日

参加費…25,000円

対象…小中高生

この秋のチャレンジキャンプのテーマは「道志山塊と三國山稜をつなぐ縦走の山旅」です。富士山北東部・忍野の平野部と山中湖を取り囲むように連なる道志山塊と三國山稜をつないで縦走する3日間の山旅に出かけます。稜線上の至る所から富士山や山中湖、他の山々の連なりが眺望でき、過去のチャレンジキャンプに比べてゆとりがある行程なので、ビギナーのエントリープログラムとしてもおすすめです。山歩きの楽しさ、醍醐味、そして達成感をみんなで分かち合おう。今シーズン最後となる「さるボードGSS」も行います。(部分参加もお受けします)



【クラフト】

550円

*小学生未満のお子様は保護者の方と一緒にご参加ください。



【ランチビュッフェ】

大人1,430円

小学生990円

幼児660円



*写真はいずれもイメージです。

◎紅葉ランチビュッフェ

11月25日(土)11時30分～14時

(クラフトは10時～)

&クラフト

紅葉が一番きれいな時期にランチビュッフェとクラフトを開催いたします。彩の季節を迎えた広大な敷地には遊歩道や静岡県景観賞を受賞した富士山ビュースポットもあります。秋の日を、ご家族やお友達とお過ごしください。

東山荘ひと口

NEWS

ロッジのカーテン新調

2010年10月にオープンした、デイン・リーパー・メモリアルロッジですが、オープン時から幼稚園、保育園のお泊り保育や大学のゼミ合宿などの学校の修養会やサマーキャンプでご利用いただいております。

13年が経過し、その間、インテリアなども少しずつ変えてきておりますが、ドレープカーテンおよびレースカーテンも傷んでしました。この度、東西ワイズメンズクラブ様からの寄付金を使わせていただき、9月末に新しく取り付けいたします。

東西ワイズメンズクラブ様に



個人のお客様から小規模グループまで、人気が高いロッジ。

季節の一品

Seasonal Recipes



和風カレー

きのこ類は好みで、茄子やオクラ等を入れても美味しいです。うどんやお蕎麦にもOKです!!



食堂店長・料理長
長田 尚弥

材料（4人前）

鰹だし（顆粒可能）..... 600cc
味醂 50cc
醤油 100cc
砂糖 大さじ 1/2
カレー粉 大さじ 2
好みのきのこ 120g
玉葱 150g
長葱 100g
油揚げ 1枚
豚コマ肉 200g
片栗粉・水 大さじ 1.5
御飯 適量

1. きのは適当な大きさに、玉葱は縦 1cm に切る。長葱は縦半分に切り、2cm 幅に切る。油揚げは 1.5cm 幅に切っておく。
2. 鍋に味醂を入れて火にかけてアルコール分をとばし、醤油と砂糖を加える。沸騰したら鰹だしを加えて玉葱を加えて煮る。
3. ②に豚コマ肉を少しずつほぐしながら加えて、火が入ったら長葱と油揚げを加えて煮る。
4. カレー粉を加えて良く混ぜる。
5. 片栗粉を水で溶き、④に少しずつ加えて濃度をつける。
6. 器にご飯を盛り、⑤のカレーをかける。

心より感謝申し上げます。

利用者数増加ー7月8月

7月の利用者総数（括弧内は日帰り利用者数）は4077人（200人）、8月は5241人（148人）となり、合計9

318人でした。多くの方にご利用いただきありがとうございます。前年同期と比較して約37%増となり、宿泊利用者だけを比較すると約47%増でした。宿泊利用を再会されるお客様が増えています。



ミラさんの周りはいつも笑顔でいっぱいでした(後列右から5人目がミラさん)。

2022年11月、ウクライナから御殿場に避難された方々の就労支援として、東山荘客室にミラさんを含め3名の方が勤務することになりました。

英語すら話せない私は、どのようにお迎えしたら良いか悩みました。

戦争による心の傷をどのように受け止れば良いのか、何をすれば良いのか・・・。

◇ ◆ ◇

答えが出ないまま、翻訳アプリで作成したマニュアルと身振り手振りで業務を共に行うと、皆さんあっという間に業務も覚え、簡単なジョークを交えたコミュニケーションも取れるようになりました。しかし、精神面に関するコミュニケーション不

YMCA stands for peace;
YMCA works for peace

ミラさんと一緒に働いて――

客室担当 杉山 菜津美

足から不安が積み重なり、残念ながら2名の方は退職されることになりました。お支えることが出来なかった自分の能力不足を痛感しました。

◇ ◆ ◇

私に何ができるのかわからないまま、残ってくれたミラさんが何を求めているのかを知るため、コミュニケーションの時間を増やすことにしました。

6号館4階から見ると富士山が好きなこと。東山荘内の桜やツジが好きなこと。パンを作るのが得意なことなど、たくさん

ある日ミラさんが、「ここにいと戦争を忘れられる。私は幸せです」と言いながら、涙を流し、ウクライナの映像を見せてくれました。無残にも崩れた街並み、生々しい銃弾の跡、そして入隊経験や愛する家族との別れ・・・。

戦争について触れてはいけな

◇ ◆ ◇

ミラさんの想いを伝えなければならぬと感じ、講演会の企



講演会の様子。

画を決意しました。

客室業務という枠組みを大きく越えることでしたが、森田所長をはじめ東山荘スタッフも趣旨を理解し全面的に協力してくださり、ガールスカウト様、ロータリークラブ様のご尽力のもと、「ウクライナの現状」について3回の講演会を実現することができました。ミラさんは「伝えられて本当に幸せな気分！ 素敵な仲間に出会うことができた！」と喜んでくれました。

◇ ◆ ◇

やっとお支えることが出来たのではないかと胸を撫で下ろすことができました。

2023年6月、ミラさんはウクライナを支援する企業に転職。現在は東京のウクライナカフェに勤務し、同郷の仲間と充実した生活を送っています。

富士山が大好きなミラさんとの出会い、共に過ごしたかけがえのない時間、人となが温かさを与えてくださったことに感謝しかありません。

◇ ◆ ◇

どうか笑顔溢れる平和な世界になりますように。



好天に恵まれ、富士山も終始その姿を見せてくれました。「いいー、にーい、ふじさーん！」

【編集後記】この夏4年ぶりにシンガポールYMCAの「インクルーシブチャレンジ富士登山」が行われ、プログラムスタッフのガイドにより、ダウン症や自閉症など知的障害がある方10名がバディ10名等と共に富士山登頂にチャレンジし、見事全員が登頂、そして元気に自分の足で五合目まで下山しました。通常の富士登山に比べ試練や困難も大きいですが、私たちスタッフは彼らから受け取った感動・喜びはそれ以上に大きく一生の宝物です。(S)

【感謝】募金・ご寄付

YMCA東山荘友の会募金

(2023年4月1日～2023年8月31日)

76件 650,380円

YMCA東山荘友の会募金にたくさんのご協力をいただき心よりお礼申し上げます。2023年度の途中経過報告をいたします。引き続き皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願いいたします。

ご寄付

生前の故人のご意思により、ご遺族の方からご寄付をいただきました。YMCA東山荘のために大切に用いさせていただきます。

○坂口順治氏(元日本YMCA研究所講師)

2022年7月 8日ご逝去 ご寄付 500,000円

○野村秋博氏(元日本YMCA同盟委員長)

2022年4月21日ご逝去 ご寄付 1,000,000円

お問い合わせ・お申込み

資料の請求はこちらまで

YMCA東山荘

〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052

TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138

E-mail: tozanso@japanymca.org

ホームページ www.ymcajapan.org/tozanso